

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-2-3	5-4-2	事業名	アジア学生交流事業
担当	総務局国際部交流課 大沼 TEL211-2032			
全 体 計 画				
事業内容	近年、特にアジア地域との連携の重要性が増してきている。国においても平成19年1月に開催された「第2回東アジア首脳会議」で「日本は今後5年間、毎年6,000人程度のアジアの青少年を日本に招く交流計画を実施する」ことを表明している。札幌市としても、こうした機会を捉え、次の時代を担う学生の交流を通して、相互理解を深め、札幌の魅力を伝え札幌ファンを育てるため交流事業を実施する。事業内容は、国が実施する「21世紀東アジア青少年大交流計画」に併せて、学生を中心とした札幌市独自の市民交流事業を行う。		＜年度別の事業内容＞	
	【開催概要】 ●アジア学生交流事業 国が実施している「21世紀東アジア青少年大交流計画」で札幌を訪れる学生と札幌市の学生との市民交流事業を行う。		20年度～22年度 ・アジアの学生と札幌の学生による学校交流 ・アジアの学生と地域住民による交流事業	
事業内容・量・場・所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	平成20年度からの事業のため平成19年度は無し		「21世紀東アジア青少年大交流計画」の受入団体と協力し、東アジアからの訪問団に対する交流事業を行った。 ①学校交流 (1)インド高校生(20.6.27札幌開成高校) 参加人数 161人(インド20人、開成高校141人) 事業内容 コズモサイエンスコースの生徒と授業参加等を通して交流を行った。 (2)カンボジア高校生(20.9.26札幌清田高校) 参加人数 100人(カンボジア20人、清田高校80人) 事業内容 グローバルコース(1年、2年)の生徒と授業参加等を通して交流を行った。 ②地域住民との交流 (1)カンボジア・デイin札幌(20.9.27札幌市生涯学習センター「ちえりあ」) 参加人数 120人(カンボジア20人、地域住民100人) 事業内容 市民に対しカンボジアを紹介するとともに、カンボジア高校生と交流を深めた。	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	「21世紀東アジア青少年大交流計画」の受入団体と協力し、東アジアからの訪問団に対する交流事業を行った。 「日本・ミャンマー伝統舞踊祭 in Sapporo」 日時・場所 21.12.13 ホテルニューオータニ札幌 参加人数 200人(地域住民200人) 出演者数 25人(ミャンマー10人、アイヌ舞踊団15人) 事業内容 ミャンマー伝統舞踊とアイヌ伝統舞踊が競演することにより異文化交流を深めるとともに、市民に対しミャンマーを紹介し交流を深めた。		平成22年度以降は予算計上無し。 国の事業は平成23年度で終了となるが、今後もアジア各国の状況を外務省や関係機関と情報共有しながら、関連団体が行う札幌市内の青少年との友好交流事業の実施を支援していく。	

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-2-3	5-4-2		事業名	アジア学生交流事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
市民交流事業等参加者数	-	-	321人	200人	-	500人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 アイヌ民族関係団体の協力を得て、両国の伝統舞踊を通じた市民の国際交流への参加を促進した。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力]国際関係機関から通訳業務の協力を得た。 [情報協力]国際関係機関から訪問団の紹介を始めとする、情報提供を受けた。 [その他の協力]事業を進めるにあたり、国際関係機関と連携を図った。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり より多くの地域住民に参加してもらえるよう関係機関と連携の上、ポスター・チラシなどを活用し幅広く広報を行った。</p>							
評価(成果)			課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの訪問団が札幌市民と交流を行うことで、札幌市民の国際理解を醸成するとともに、次代を担うアジアの若者に札幌市の魅力を伝え、札幌への留学や観光などアジア地域からの訪問者の増加という波及効果が将来的に期待できる。 ・関係機関と連携を図り、事業を実施することができた。 			<p>本事業は国の実施する「21世紀東アジア大交流計画」(実施期間：平成19～23年度)に併せて行っているため、期間終了後のアジア諸都市との交流機会の確保について検討が必要である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>国の事業は平成23年度で終了となるが、今後もアジア各国の状況を外務省や関係機関と情報共有しながら、関連団体が行う札幌市内の青少年との友好交流事業の実施を支援していく。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-2-3	5-4-2	事業名	アジア学生交流事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	1,000	1,000	1,000	3,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	0	0	0	0	0	
一般財源	0	1,000	1,000	1,000	3,000		
予算	事業費	0	800	720	0	1,520	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	0	0	0	0	0	
一般財源	0	800	720	0	1,520		
実績	事業費	0	377	277	—	654	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の他	0	0	0		0	
一般財源	0	377	277		654		
事業費の進捗率		(H19実績事業費+H20実績事業費+H21実績事業費+H22予算事業費) / (計画事業費)				21.8%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》							
[19年度]							
[20年度]							
予算を立てる段階で、当初計画よりも支出抑えるよう設定した。 予算と実績との差異については、国際関係機関との連携により通訳業務等の協力を得られたことにより支出を抑えたため発生した。							
[21年度]							
予算を立てる段階で、当初計画よりも支出抑えるよう設定した。 予算と実績との差異については、国際関係機関との連携により通訳業務等の協力を得られたことにより支出を抑えたため発生した。							
[22年度]							
予算計上無し							